

I . 事業報告及び決算報告 (案)

平成30年度 事業報告 (総括)

公1 鍼灸医学に関する研究の進歩普及を図るため、学術大会、支部学術集会などを実施する事業

- 1) 第67回(公社)全日本鍼灸学会学術大会(大阪大会)
平成30年6月2日・3日の2日間:ハイアットリージェンシー大阪
森ノ宮医療大学 参加総数:2,512人
- 2) 支部学術集会の開催
 - ① 北海道支部:平成30年11月11日:札幌サンプラザ 参加者数:38名
 - ② 東北支部:平成30年7月1日:東北大学 参加者数:66名
 - ③ 関東支部:平成30年11月25日:呉竹医療専門学校 参加者数:172名
 - ④ 中部支部:平成30年11月23日:中和医療専門学校 参加者数:68名
 - ⑤ 近畿支部:平成30年11月23日:明治東洋医学院専門学校 参加者数:86名
 - ⑥ 中国四国支部:平成30年度は西日本豪雨災害のため中止
 - ⑦ 九州支部:平成30年度は台風上陸のため中止
- 3) 学術研究部委員会開催
- 4) 第68回学術大会(愛知大会)の企画・準備支援、新たな学術大会を目指し検討

公2 鍼灸医学の学術の向上と普及を図るための調査、資料収集を行う事業

- 1) 鍼灸の有用性・安全性・経済性に関する情報収集及び発信
- 2) データベース委員会:JACLIDの充実・維持管理、文献評価研修会の継続
- 3) 国民のための鍼灸医療推進機構(AcuPOPJ)への活動参加
- 4) 海外鍼灸関連情報の収集と日本への紹介及び日本鍼灸関連の海外への紹介
- 5) WHO、世界鍼灸学会連合会(WFAS)、ISO/TC249その他国際会議への参加・情報収集・調査・紹介
- 6) ICD-11での伝統医学疾病分類がWHOで承認後の国内対応の協議
- 7) 海外の鍼灸関連学協会との交流
- 8) 鍼灸関係用語の収集・整理と日本鍼灸用語集の編集

公3 鍼灸医学の学術の振興を図るための助成事業

- 1) 公募研究助成
鍼灸学に関する研究の進歩普及を図り、学術の発展に寄与することを目的とする。
研究期間:1年間(平成30年7月~平成31年3月)
予算総額:20万円(平成30年20万円)

公4 鍼灸医学の発展普及を図るため学術雑誌などの発行や鍼灸医学の情報を公開する事業

- 1) 全日本鍼灸学会雑誌の発行：年4回発行（68巻2号～69巻1号）
- 2) オンライン英文雑誌の発行
- 3) 学会ホームページによる情報発信
- 4) メールマガジンによる情報発信
- 5) 英語版Webサイトによる情報発信
- 6) 学術大会Webサイトによる情報発信

その他事業

学会が認定する、認定登録鍼灸師を育成するため、学会在籍5年以上の正会員で、別に定める履修基準を満たしたものが、認定試験を経て認定証を付与する事業及び学会会員の優秀なる研究業績に対して表彰する事業

- 1) 認定登録者への認定証の交付
- 2) 認定制度改革検討委員会の開催
第1回平成30年6月3日
第2回平成30年6月10日
第3回平成30年7月24日
第4回平成30年10月24日
第5回平成31年2月17日
- 3) e-learning 事業コンテンツの作成
e-learning 講義内容の選定作業
- 4) 高木賞選考委員会開催及び高木賞1名、奨励賞2名に授与

会議など

会務運営のための諸会議に関すること及び会議録の作成並びに保管

- 1) 通常総会
平成30年6月2日（土）：ハイアットリージェンシー大阪
- 2) 諮問委員会
平成30年6月1日（金）：森ノ宮医療大学
- 3) 理事会
平成30年4月29日（日）：東京医療専門学校代々木校舎
平成30年6月1日（金）：森ノ宮医療大学
平成30年6月2日（土）：ハイアットリージェンシー大阪
平成30年7月15日（日）：東京医療専門学校代々木校舎
平成30年11月3日（土）：東京医療専門学校代々木校舎
平成31年2月17日（日）：東京医療専門学校代々木校舎

4) 常務理事会

平成 30 年 7 月 15 日 (日) : 東京医療専門学校代々木校舎

平成 30 年 11 月 3 日 (土) : 東京医療専門学校代々木校舎

官公庁及び鍼灸関連団体との渉外に関すること

1) 鍼灸医療安全性連絡協議会

平成 31 年 1 月 15 日 : 東京医療専門学校四谷校舎